E7 Claude Code

VPSサーバー（Xserver VPS）：Webアプリを自分のサーバーで動かすとき

VPSが必要なとき、Xserver VPSの現状（新規受付の一時停止）と、いま申し込めるVPSクラウドの料金・オプション・構成例（公式カタログ）、見落としやすい注意、防犯の初期設定、設置の流れ、取次店のお申し込みフォーム（広告表示つき）

更新日：2026-10-03（2026年10月時点の情報）｜HUMAC 伊藤晴通

対象ツール：Claude Code

考え方は、どのAIエージェントにも共通です。ただし、**ファイル名・画面・設定・コマンドは、Claude Code**（Claudeのデスクトップアプリの「Code」タブ）の場合です。ほかのAIエージェントでは、読み替えが必要です。

対象の方：開発者ではない方（経営者・事務・現場の担当者）。プログラミングは不要です。**コードは書かず、AIエージェントに頼んで、自分の業務アプリをつくる**ところまでを、順に進めます（ターミナルの黒い画面は、使わない形で書いています）。

広告（取次店）と、受付状況についてのお知らせ（2026年10月3日時点）

- **広告**：講師（株式会社ヒューマック 伊藤）は、エックスサーバーの**取次店**です。この資料の8章には、講師の「申し込みフォーム」のリンクが載っています。このリンクからお申し込みいただくと、講師に、取次の報酬（紹介料・手数料など）が支払われる場合があります。資料の内容は、公式の情報にもとづいて書いています。このリンクを使わずに、エックスサーバーに直接申し込むこともできます。
- **受付状況**：エックスサーバーの公式のお知らせによると、**「XServer VPS」は、全プランで、2026年9月17日から新規の受付を一時停止**しています。**再開は、2026年11月中の予定**です（既存の契約者は、追加の申し込みができます）。代わりに、新しいサービス**「XServer VPS クラウド」**（2026年8月31日開始）が案内されています。**VPS クラウドは、講師の取次店のお申し込みフォームの対象外で、エックスサーバーに直接お申し込みいただく形になります**（講師への報酬は、この資料のリンクからは生じません）。受付の状況は、変わることがあるので、申し込みの前に、公式のお知らせで必ず確認してください。

VPSは、「自分専用の小さなサーバー」を借りること

AIエージェントに作ってもらったWebアプリは、まず、E5の Supabase と Cloudflare で動かせるか、考える。それで足りない場合に、**VPS（仮想専用サーバー）**を借りて、自分でアプリを設置する。借りるのは「サーバーという建物の、1フロア」。**鍵（管理者の権限）は、すべて自分が持つ**代わりに、**OSの更新・防犯・バックアップも、自分の責任**になる。

1. VPSが必要になるのは、どんなとき？

やりたいこと	Cloudflare・Supabase（E5）で足りる？	VPSが向く？
ホームページ・案内ページを公開する	足りる	不要
台帳・予約などの、データを貯めるアプリ	足りることが多い（Supabase）	特別な事情があるとき
24時間動き続ける処理（定期実行・通知・連携）を、自由に作りたい	無料枠の制限（処理時間・回数）に当たることがある	**向く**
特定のソフト・言語・OS・ポートが必要	対応できないことがある	**向く**
既存のWebアプリ（PHPなど）を、そのまま移したい	作り直しが要ることがある	**向く**
外部のサービスと、決まった接続先（固定のIP）でつなぎたい	難しいことがある	**向く**

VPS と、「レンタルサーバー」の違い

レンタルサーバー（共用）は、事業者がOSや防犯を管理してくれる、決まった型の貸し部屋。VPSは、**OSの管理者（root）権限を持つ、自分専用の環境**で、自由度が高い。そのかわり、**設定・更新・防犯を、自分でやる**。自信がなければ、まずE5のサービスか、レンタルサーバーを検討する。

2. Xserver VPS の、サービスの種類（公式の情報・2026年10月時点）

	XServer VPS（従来）	XServer VPS クラウド（新サービス）
受付	**新規受付は一時停止中**（2026年9月17日〜、再開は11月中の予定）	受付中（2026年8月31日開始）
向き	1台構成（Web・開発・ゲームなど）	1台から、複数台構成まで。サーバー同士をつなぐ私設ネットワーク、データベースサーバー、ロードバランサーなどを足せる
料金（4GBの例）	公式の料金一覧で確認（受付の再開後）	**4GB（50GB）：月額2,480円（1か月契約）／2,068円（12か月契約）**、税込。通信量や時間の従量課金は無し（3章の表）
バックアップ	自動バックアップは、標準では付かない（オプションなど。公式で確認）	**日次の自動バックアップが標準**（最大7日分）
ビジネスプラン（法人向け）	稼働率保証（SLA）・自動バックアップが付く、法人向けのプラン（受付停止の対象に含まれる）	—
API（自動操作）	—	未提供（今後の予定）

料金・キャンペーン・受付状況は、頻繁に変わる。申し込み画面と、公式のお知らせで必ず確認する。ビジネスプランの内容は、販売パートナーの解説にもとづく（公式ページで確認）。

3. XServer VPS クラウドの料金・オプション・構成例（公式カタログ・2026年8月31日更新版・税込）

いま申し込める「XServer VPS クラウド」の内容。**料金は、VPSは12か月契約時の月額換算**で、ほかのオプションは1か月契約の月額。当月分は日割りになる（カタログの注記）。

VPS（ストレージの違う2タイプから選ぶ）

メモリ	vCPU	NVMe SSD と 月額（12か月契約時）
4GB	4コア	50GB：2,068円〜／200GB：3,100円〜
8GB	8コア	100GB：3,784円〜／400GB：5,676円〜
16GB	12コア	100GB：8,167円〜／800GB：12,250円〜
32GB	18コア	100GB：20,475円〜／1,600GB：30,713円〜
64GB	32コア	100GB：40,950円〜／2,400GB：61,425円〜
128GB	48コア	100GB：81,900円〜／3,200GB：122,850円〜

小さなWebアプリなら、まず4GBで十分なことが多い。1か月契約の4GB（50GB）は、月額2,480円（公式サイト）。

有料オプション

オプション	ひとことで	月額の例
DBサーバー	PostgreSQL または MariaDB の、データベース専用のサーバー。OSなどは、エックスサーバーが管理（rootは付かない）	10GB：1,441円／30GB：2,480円／60GB：4,961円〜
DBの自動バックアップ	日次・最大7日分	10GB：220円／30GB：660円〜
L4ロードバランサー	アクセスを、複数のサーバーに振り分ける	スタンダード 3,300円／ハイスペック 6,600円
NFS	サーバー間で共有する、保存場所	30GB：1,790円／100GB：5,951円〜
追加IPアドレス	IPv4アドレスを足す	400円／1個
ネットワーク帯域拡張	通信の太さを広げる	300Mbps 5,500円／500Mbps 8,800円
イメージ保存容量の追加	VPSのイメージ（まるごとの保存）を置く容量。50GBは標準で付く	1,650円／500GBあたり

「おまとめ自動セットアップ」：構成を選ぶだけ（月額の目安）

構成	中身	向く用途	月額の目安
小規模・検証用	VPS 4GB 1台＋DB 10GB	WordPress、データの管理、小さなアプリ	**3,509円**
機能ごとの分離	VPS 4GB 2台	アプリ用・バッチ用・管理用など	4,136円
標準的なサイト	VPS 2台＋DB＋ロードバランサー	Webサーバー・APIサーバー	8,877円
ファイルのバックアップ	VPS＋NFS 100GB	データのバックアップ、ログ集計	8,019円
本番とテスト環境	VPS 3台＋DB＋ロードバランサー	修正を、テスト環境で試してから、本番へ	10,945円
安全なファイル共有	VPS 2台（VPN用）＋NFS 100GB	社内ファイルサーバー	10,087円
セキュリティ重視	VPS 3台＋DB＋ロードバランサー＋NFS（運営者専用のVPN経路）	基幹業務システム、ECサイト	16,896円
負荷耐性重視	VPS 2台＋DB＋ロードバランサー＋NFS	画像・メディアの配信	14,828円

構成例は、最小の注文内容。はじめての方は、「小規模・検証用」か、VPS1台から始めて、必要に応じて足す。

標準で付く機能

- **管理者（root）の権限**：VPSには、全プランで付く（DBサーバー・NFS・ロードバランサーには付かない）。
- **通信量は無制限**：従量課金や維持調整費は無い。ただし、回線は共有で、1契約あたり最大100Mbps（オプションで拡張）。
- **自動バックアップ**：VPSのデータを、1日1回、最大7日分。復元は、管理画面（コントロールパネル）の操作で行える。
- **イメージ保存**：その時点のVPSを、まるごと保存できる（50GBまで無料）。
- **防犯の機能**：パケットフィルター（ポートの開閉、接続元の制限）、SSH鍵（秘密鍵と公開鍵。申し込み時に自動生成できる）、管理画面の二段階認証。
- **操作**：ブラウザからのコンソール（リモート接続できないときも、管理画面から直接操作できる）。独自ドメインのDNS設定。無料のサブドメイン（example.xvps.jp のようなURL）で、すぐにテスト公開できる。
- **OS・アプリのひな形**：OSイメージと、セットアップスクリプト（Docker、WordPress、KUSANAGIなど）から選べる。
- **支払い**：クレジットカード、あと払い（ペイディ）、プリペイド決済。
- **サポート**：メールは24時間365日。電話は平日10時〜18時。

はじめての人が、見落としやすい点（カタログの注記）

- **DBサーバーの設定・保存データ・バックアップは、お客様の管理**。自動バックアップは、有料のオプション（上の表）。付けない場合、自分で取る。
- **NFS（共有の保存場所）には、お客様が任意に復元できるバックアップ機能がない**。大事なデータの、唯一の置き場にしない。
- **プランの変更は、「ストレージが、いまと同じか、大きいプラン」にだけできる**（小さくはできない）。最初に大きすぎるタイプを選ぶと、戻せない。
- 料金は、12か月契約時の月額換算で表示されている。**月ごとの契約より、年間の契約のほうが、月額は安い**が、期間の縛りがある。
- 「大手のクラウド（IaaS）のように、部品を自由に組み合わせる」ものではなく、**導入の速さと、費用の分かりやすさ**を重視したサービス（エックスサーバーの説明）。

4. 契約する前の確認

□	確認すること
□	E5（Cloudflare・Supabase）では、本当に足りないか、AIに確認してもらった
□	OSの更新・防犯・バックアップを、自分（または担当者）が続けられるか
□	個人情報・お客様のデータを置くか（置くなら、法人向け・バックアップ・SLAを検討）
□	独自ドメインを、どこで管理しているか（DNSの変更の権限）
□	メモリの量（まず4GB程度）と、ストレージの量（あとで小さくはできない）
□	DBを使う場合、バックアップをどうするか決めた（有料オプション、または自分で取る）
□	支払い方法（カード・あと払い・プリペイド）と、契約の期間（1か月／12か月）を決めた
□	公式のお知らせで、受付状況を確認した
□	鍵の置き場所を決めた（E6）

5. 契約直後に、必ずやること：防犯の初期設定

VPSは、**入り口（ポート）を開けた瞬間から、世界中の攻撃の対象になる**（エックスサーバーの公式の解説）。契約直後の設定が、最も大切。公式の手順は、次の3つ。

1

1 OSとソフトを、最新にする

古いままだと、すでに知られている弱点を、突かれる

2

2 安全に、遠隔操作できるようにする

管理用の一般ユーザーを作る／**パスワードではなく、鍵（公開鍵認証）**で入る／**管理者（root）での直接のログインを禁止**

3

3 ファイアウォール（パケットフィルター）

必要なポートだけを開ける（遠隔操作、Webの公開用）。契約直後は、すべての接続を拒否する設定

「パスワードで入れる」「rootで入れる」状態を、放置しない

サーバーの乗っ取り（データの流出、暗号資産の採掘への悪用、他者への攻撃の踏み台）は、**初期設定の甘さ**から起きる。作ったサーバーが乗っ取られると、**お客様への信頼と、業務のすべてを失う**。AIに任せるにしても、上の3つは、**人が、設定されたことを確認する**（関所。E2）。

6. Webアプリを設置する流れ

1

1 契約・OSの選択
公式が用意するOS・アプリのひな形から選ぶ（Ubuntuなど）

2

2 防犯の初期設定
4章

3

3 アプリを置く
手元で動いたものを、サーバーに置く。まず、確認用の環境で

4

4 ドメインとHTTPS
ドメインを向ける（DNS）。通信を暗号化する

5

5 バックアップ・見守り
データの保存先、更新の予定、動いているかの確認

AIエージェントに、設置を手伝ってもらうとき（コピーして使う）

コピーして使う

〔作ったWebアプリ〕を、VPS（Ubuntu）に設置したいです。いきなり操作せず、まず手順を提案してください。
条件：
・サーバーに入るのは、私がするか、1コマンドずつ内容を説明して、私の承認を得てからにしてください。
・管理者（root）で作業しない。管理用の一般ユーザーと、公開鍵認証にしてください。パスワードでのログインと、rootでのログインは、禁止にしてください。
・ファイアウォールは、必要なポート（遠隔操作・Web）だけを開けてください。
・鍵・パスワードは、チャットにも、ファイルにも書かない。保管の方法を提案してください（金庫を使う）。
・消す操作、権限を変える操作、設定ファイルの書き換えは、実行前に、何が変わるかを説明してください。
・作業の前に、サーバーの状態（バックアップがあるか）を確認してください。

AIに渡してはいけないもの

- **秘密鍵（サーバーに入るための鍵）**と、パスワード。チャットに貼らない（E6）。
- サーバーの管理者（root）の権限。必要な操作だけ、1つずつ、人が承認する。
- お客様の実データ（赤の情報。D1）。

7. 動かし始めたあとの運用

頻度	やること
毎月	OS・ソフトの更新を適用する。動作を確認する

頻度	やること
毎週	バックアップが取れているか確認する。ディスクの空き、動いているかを確認する
半年ごと	使っていないポート・ユーザー・鍵を、整理する。鍵の棚卸し（E6）
異常があったとき	慌てて操作を重ねず、状況を記録する。必要なら、サーバーをいったん止め、鍵を入れ替える（E6）

8. お申し込み：エックスサーバー VPS（取次店のお申し込みフォーム）

講師の紹介リンクから、お申し込みの場合（広告）

下のリンクは、エックスサーバーの申し込みページです。講師は、エックスサーバーの**取次店**で、この「申し込みフォーム」のリンクを使ってお申し込みいただくと、**講師に、取次の報酬（紹介料・手数料など）が支払われる場合があります**。お客様への特典の有無・内容は、お申し込みの画面で、エックスサーバーの案内を確認してください。

XServer VPS（標準プラン）のお申し込みフォーム
広告。**新規受付は一時停止中（再開は11月中の予定）**

XServer VPS（ビジネスプラン・法人向け）のお申し込みフォーム
広告。**新規受付は一時停止中（再開は11月中の予定）**

公式のお知らせ（受付状況の確認）
再開の日付は、ここで確認

XServer VPS クラウド（公式・直接お申し込み）
いま受付中。**広告ではありません**（講師の取次店フォームの対象外）

受付停止の間は、上の2つの申し込みページを開いても、お申し込みができない場合があります。いま申し込めるのは、**VPS クラウド（直接のお申し込み）**です。取次店のリンクを使うかどうかは、自由です。

関連資料

- E5 SupabaseとCloudflare … まず、ここで足りるか確認する
- E6 APIキー（秘密）の扱い … 鍵をサーバーに置かない・金庫に置く
- E2 ハーネスエンジニアリング入門 … 関所と事故から生まれたルール
- E4 Gitの導入と設定／D1 信号機ルール

出典（2026年10月確認）

- 『XServer VPS』新規受付の一時停止のお知らせ（エックスサーバー・2026年9月17日） (https://vps.xserver.ne.jp/support/news_detail.php?view_id=19471)：全プラン、再開は11月中の予定
- XServer VPS クラウド（エックスサーバー） (https://vpscloud.xserver.ne.jp/)：料金、日次自動バックアップ、複数台構成
- XServer VPS Cloud開始（VPSニュース・2026年8月31日） (https://vpshikaku.com/news/vps/vps-2026-08-31-xserver-vps-cloud-launch/)：従来のVPSとの違い、APIは未提供（二次情報）

- XServer VPSの契約直後に対応すべきセキュリティ対策（エックスサーバー） (https://vps.xserver.ne.jp/vps-media/initial-security/)：OS更新、公開鍵認証、root禁止、パケットフィルター
- XServer VPS クラウド 料金（エックスサーバー） (https://vpscloud.xserver.ne.jp/price/)：3章の料金・オプション・構成例（カタログ 2026年8月31日更新版にもとづく）
- XServer VPS クラウド 対応OS一覧（エックスサーバー） (https://vpscloud.xserver.ne.jp/functions/os_images/)
- XServer VPS（エックスサーバー） (https://vps.xserver.ne.jp/)
- XServer VPSの「ビジネスプラン」を徹底解説（販売パートナー） (https://sabameijin.com/xserver-vps-business/)（ビジネスプランの内容。二次情報）